

68:19 ほむべきかな主。日々私たちの重荷を担われる方。この神こそ私たちの救い。セラ

68:20 神は私たちの救いの神。死を免れるのは私の主【神】による。

68:21 神は必ず敵の頭を打ち砕かれる。自分の罪過のうちを歩む者の毛深い脳天を。

68:22 主は言われた。「わたしはバシャンから彼らを連れ帰る。海の深みからも連れ帰る。

68:23 あなたが彼らを打ち砕き足を血に染めあなたの犬たちの舌が敵の血をなめるために。」

68:24 神よ人々はあなたの行列を見ました。聖所で私の王私の神の行列を。

68:25 歌い手が前を進み楽人が後に続く。タンバリンを鳴らすおとめたちのただ中を。

68:26 「相集って神をほめたたえよ。イスラエルの泉から【主】をほめたたえよ。」

68:27 そこには彼らを導く末子のベニヤミンがいる。その群れの中にはユダの君主たちゼブルンの君主たちナフタリの君主たちもいる。

68:28 あなたの神はあなたの力を現れさせました。神よあなたが私たちに示された力を。

68:29 エルサレムにあるあなたの宮のゆえに王たちはあなたに献上品を携えて来ます。

68:30 葦の中の獣を叱ってください。国々の民の子牛を連れた雄牛の群れを。彼らは銀の品々を踏みつけています。戦いを喜ぶ国々の民を散らしてください。

68:31 貢ぎ物はエジプトから到来しクシュは神に向かって急いで手を伸ばします。

68:32 地の王国よ神に向かって歌え。主にほめ歌を歌え。セラ

68:33 いにしえから天の天を御される方に。聞け。神は御声を発せられる。力強い御声を。

68:34 力を神に帰せよ。威光はイスラエルの上に御力は雲の中にある。

68:35 神よあなたは恐るべき方。あなたはご自分の聖なる所におられます。イスラエルの神こそ力と勢いを御民にお与えになる方です。ほむべきかな神。

「ほむべきかな。日々、私たちの重荷を担われる方。」とあります。なんと心強いことでしょうか。私たちは主に祈って、すぐに答えがないと、忘れられているのか〜とか、愛されていないのか〜などといじけてしまうような者ですが、実は主御自身は忘れるどころか、私たちの重荷をすでに負ってくださるのです。ですから主が共に苦しんでくださるのです。

その主の姿を聖霊によって見せていただきましょう。その主の心を聖霊によって感じさせていただきましょう。それはあの十字架に始まるものです。あの十字架は今も有効であり、私たちの今の重荷のためでもあったのです。そして主イエスは私たちのためにとりなしてくださるのです。

生涯かけて「神をほめたたえ」る聖徒らの行列に加わりましょう。そのような生き方をしましょう。主の前でいじける思いを捨てて、主を頼もしいお方と信頼しましょう。

「貢ぎ物はエジプトから来、クシュは神に向かって急いで手を伸ばします。」とあります。異邦人が救われることが預言されていますが、まさに私たちこそが異邦人の救いの預言成就です。主のみわざの確かさに驚きつつ感謝しましょう。

またそのような主は、今まだ信じていない人々にもアプローチしておられます。主の救いのわざに期待して、伝えましょう。クリスマスシーズンに主のわざに期待して、その主のわざに参与させ

ていただきましょう。何ができるでしょうか。できることから始めて、その後にまた主の導きを求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

